



Global Leaders!

令和3年度に沖縄県教育委員会が主催する「グローバル・リーダー育成海外短期研修事業」に参加した生徒達が研修報告を行いました。参加生徒のそれぞれが県の代表としての誇りと自覚を持って研修に臨み、そこでの学びや気づき、今後の抱負を緑中を含む全校生徒と共有してくれました。アメリカ高等研修プログラムや海外サイエンス体験研修の参加者は流ちょうな英語での報告で聴衆の学習意欲をかき立てる素晴らしい発表でした。また報告の最中は水を打ったような静けさで、本校生徒の聞く態度の素晴らしさにも感動しました。今年度はコロナの状況次第ですが、上記プログラムで実際に海外で研修することが可能になり、新たにアジアの高校生徒もオンラインで交流する事業もスタートします。



- 発表者：○海外雄飛プログラム：崎濱日陽奈
 ○海外サイエンス体験短期研修：赤嶺千寿、小濱未裕
 ○芸術文化国際交流プログラム：狩俣妃呂
 ○アメリカ高等教育研修：伊礼萌乃、山城万奈、佐次田想永、比屋根彩、仲田優生

与勝高校陸上部躍動！

大学生や社会人も参加した県陸上競技選手権大会兼国体選考会にて本校陸上部が男女ともに今年も輝かしい成績を残し九州大会への出場権を獲得しました。県インターハイ予選での活躍も期待したいです。

- 外間結希乃：女子A円盤投げ1位、ハンマー投げ1位
 知念一菜：女子A円盤投げ2位、ハンマー投げ4位
 外間勝結：男子B円盤投げ1位、男子Aハンマー投げ4位
 宮里朝大：男子A走高跳4位

緑中新入生歓迎球技大会

前日の大雨やコロナの感染状況から開催が危ぶまれましたが、生徒の熱い思いが通じて歓迎球技大会を実施することができました。4月の遠足等に続き行事を通して各クラスとも団結が深まったことでしょう。新入生で最も活躍した選手に贈られるMVPには、砂川真名杜さんと大城琉夏さんが選ばれました。クラス対抗では、優勝2B、準優勝1A、3位3Aとなりました。楽しい思い出がまた一つ増えましたね。



Quote for the month (今月の言葉)

「この状況は私たちの歴史と重なる。ケニア、そしてほとんどのアフリカの国々は、帝国の終焉によって誕生した。私たちの国境は、私たち自身で引いたものではない。ロンドン、パリ、リスボンといった遠い植民地の本國で引かれたものだ。」 **ケニア共和国キマニ国連大使**
 かつて欧州列強による植民地支配を受け、国境を分断された過去を持つアフリカ。軍事を振りかざし、現状変更を図るロシアの行動に対してアフリカの歴史と照らし合わせて憤りをあらわにした言葉。国境線を勝手に決められても、それを受け入れ、平和に共存していくため歩みを進めるアフリカの思いを受けとめると同時に、歴史から学ぶ姿勢も大切にしたいですね。校長



復帰50周年

今年には沖縄が米
 国統治から日本に復
 帰して50年目を迎える。**1952年**に琉球
 政府が設立され、**4月28日**にサンフランシスコ平和条約と日米安保条約が発効し終戦後の日本は独立したが、沖縄は引き続き米軍の施政権下に置かれることになり、沖縄が日本本土から切り離されたその日は「**屈辱の日**」とも呼ばれる。それから20年の時を経て**1972年5月15日**に戦後27年続いた米国による統治が終了し、日本に復帰した。復帰50周年を迎える今年、高校生を対象に行ったアンケートで調査で、沖縄の本土復帰の日を**5月15日**だと知っている生徒が**2割**ほどだったとの報道があった。復帰前の時代は、中高生の皆さんに取っては遠い昔の事のように感じるかも知れないが、沖縄の置かれた現状と課題、そして皆さんが生きていく未来を考える上では、戦争の記憶を語り継ぐ慰霊の日に加えて、現在の基地問題に繋がる米軍統治下から復帰に到るまでの歴史もしっかりと学んで欲しい。校長



平和フィールドワーク(高校)

16日に図書平和学習委員を中心とするメンバーが毎年恒例のフィールドワークに参加する。今年度は平敷屋にある「ナイキ(ミサイル)」基地跡や旧メースB(核ミサイル)基地などを訪れ、平和学習発表会に向けて学びを深める。6月の平和学習発表会を通してウクライナで起きている事を身近な問題として捉える契機になることを期待します。

5月の予定

- 6日(金) 新入生歓迎球技(中)
- 10日(火)~ 三者面談(中高)
- 16日(月) 平和フィールドワーク(高)
- 19・20日 中間考査(中高)
- 23日(月) 新入生歓迎球技(高)
- 24日(火) 生徒総会(中)
- 27日(金) 生徒総会(高)
- 高校総体激励式(高)
- 29日(土) 高校総体(~6月1日)
- 31日(火) 中体連激励式(中)